

# 労福協 NEWS

2015.4 No.73

## 生活困窮者自立支援法が スタートしました



生活困窮者自立支援制度「認定就労訓練事業」説明会

### 【平成27年度受託事業】

- 徳島県生活困窮者自立支援事業  
「就労準備支援事業」
- 徳島市生活困窮者自立支援事業  
「就労準備支援事業」「学習支援事業」
- 小松島市生活困窮者自立支援事業  
「自立相談支援事業」
- 鳴門市生活困窮者自立支援事業  
「自立相談支援事業」
- 阿南市生活困窮者自立支援事業  
「自立相談支援事業」「就労準備支援事業」

### 【生活困窮者自立支援制度とは】

平成27年度4月1日に施行された新法で、複合的問題をかかえ生活に困窮している人に対し、生活保護受給に至る前の段階で自立に向けた支援を包括的・一元的に実施することにより、自立の促進を図ることを目指すものです。支援は自立相談支援事業所の窓口相談員を中心に実施され、相談者の状況に応じて早期的・個別的・継続的な支援を実施するものです。

### 【公益社団法人徳島県労働者福祉協議会の取り組み】

徳島県労働者福祉協議会では、平成23年度からの「パーソナル・サポート・サービスモデル事業」を受託、『パーソナル・サポート・センターとくしま』を開設しました。さらに平成25年8月からは「生活困窮者自立支援促進モデル事業」に基づき、新たな『パーソナル・サポート・センターとくしま』を開設し、述べ約19,000人の方々に対し支援を行ってまいりました。4月からは新たな制度となり体制も一新いたしますが、これまで同様、相談支援員による伴走型支援を実現するとともに、これまでの機能をより拡充・強化し生活困窮者の自立に向けた創造的な活動を行ってまいりたいと考えています。

## 労福協

徳島県次世代育成支援のための職場環境整備事業はぐくみ支援実践セミナー

### 阿波女翔る！ こんな職場なら、仕事も子育ても自己実現もできる！

- と き 2015年2月23日(月) 18:30~20:30
- と ころ ふれあい健康館 第2会議室
- 参加者 74名(行政10名、企業・法人38名、労福協加盟団体5名、一般6名、労福協15名)
- 内 容 パネルディスカッション  
[パネリスト]  
株式会社ネオビエント 代表取締役 藍原理津子氏  
佐藤デザイン工房 代表 佐藤あすか氏  
大塚製薬株式会社 診断事業部管理部長兼薬事課長 立川 富子氏  
株式会社桶幸ウチダ造花 取締役部長 南 智子氏  
株式会社高橋ふとん店 店舗事業部上席部長 山田久美子氏  
[コーディネーター]  
徳島県社会保険労務士会 副会長 米澤 和美氏

本事業10年間の総括となる今年度は、県社会保険労務士会の米澤和美副会長をコーディネーターに迎え、徳島新聞経済面に連載中の「阿波女翔る」に登場した女性経営者や役員、管理職5人の方々によるパネルディスカッションを開催し、「仕事と子育ての両立」からもう一步踏み込んだ「自己実現」までもできる職場環境について意見を交わしました。



藍原氏は経営者の立場から、「社員が結婚し子育てと仕事も両立し自己実現できるよう、制度を充実させるのはもちろんだが、さらに大事なことは社内の雰囲気、制度と環境づくりの両面で整えて、地域と共に成長する企業、地域に貢献できる企業に育てたい、それが私自身にとっても自己実現になる」と想いを語りました。

自社の業務内容に「おかあさん業」も掲げている佐藤氏は、「幸せな会社で働く人が家に帰ると幸せな家庭になり、幸せな家庭が増えると地域が、日本が、ひいては世界が幸せになっていく」と座右の銘を紹介。「母親だけでなく父親の職場も理解を深め、社会全体が両立支援の方向に進むことを願う」と思いを込めました。

立川氏は、数人の有志からでも集まり、仕事に関わりのあることを学び合う機会を継続的に持つことを提案。「こうした活動により、仲間意識や仕事や子育てを協力し合える信頼関係が生まれ、自身の仕事との関わりも強くなり次の仕事につながる、まずは小さな自己実現から」と提言しました。

南氏は、「10あるやりたいことの1つでもあきらめずに叶えられるように進んでいく、お客様や喜んでくれる方のために仕事をするのが、自己実現につながり人間性も高められる。仕事と子育ての両立には周りのサポートも大事であるが、会社としては、制度を整え方向性を伝えていくことも大事である」と持論を述べました。

山田氏は、「仕事と子育ての両立をあまり難しく考えすぎずに、できる範囲でしていくのが大切。職場や家庭で笑顔でいれば本人も周りも楽しくなる。仕事と子育てを両立してきた上司を見てきて、『ああいう人になりたい』と思ってきたので、今度は皆にそう思ってもらえる自分になりたい」とロールモデルの存在も重要であることを笑顔で語りました。

参加者は、迷いながら悩みながら自分らしい生き方や働き方を見つけて翔けてきた、阿波女の皆さんのありのままの姿に、自身のこれまでと今、これからを重ね合せながら聴き入っていました。

事後のアンケートには、制度はもとより、上司の理解や、同僚や先輩の協力、男性の意識改革などが仕事も子育ても自己実現もできる職場に求められるという声が多数寄せられました。

## 連 合

## 2015春季生活闘争学習会

## I部 連合白書学習会

## II部 年金積立金はだれのもの



2015春季生活闘争徳島県共闘会議は、2月17日(火)労働福祉会館別館5Fホールにおいて「I部 連合白書」「II部 年金積立金はだれのもの?」のテーマで学習会を開催した。県共闘会議に結集する各構成組織から80名の代表者が参加した。学習会は、田北副事務局長の司会進行で始まり、共闘会議の新居副議長の開会あいさつの後、冒頭、共闘会議を代表して河村議長が「春闘の真最中ではありますが、連合本部の話が聞かれた方がより新しい情報を聞けるとおもいます。」とあいさつ。続いて、連合白書学習会に移り連合本部総合労働局労働条件・中小労働対策局曾原局長から、「今週から春季生活闘争の要求提出が始まり、来週には要求書提出の山場になります。改めて今回の春闘の状況・特徴について説明します。政労使会議で経済の好循環に向けた政労使の文章を34P(連合白書)に記載しています。中小企業で働く者の底上げ、非正規の格差是正、それがなければ一部の大手企業の賃上げだけでは経済の好循環になりません。」と説明を受けた。続いて、「年金はだれのもの」と題して連合本部総合政策局生活福祉局照沼部長から、「サラリーマン、自営業者の年金積立金130兆円を運用しているのが年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)です。ポイントはわれわれ国民がGPIFに運用を委託している訳ではないという点です。GPIF法は安全かつ確実を基本とし、かつ、厚生年金保険法第七十九条の二及び国民年金法第七十五条の目的に適合するものでなければなりません。年金積立金の管理及び運用における長期的な観点からの資産の構成に関する事項を基本

ポートフォリオ(資産構成割合)に定めています。『日本再興戦略』改訂2014(2014年6月24日閣議決定)は資金運用の観点から行われた有識者会議の提言を踏まえ、年金制度、法人の組織論等の観点から今後の法改正の必要性も含めた検討を行うなど、必要な施策の取組を加速すべく所要の対応を行う。運用の改革は、専ら被保険者の利益のために行うものである。こうした運用が結果的に成長への投資、ひいては日本経済に貢献し、経済の好循環にもつながる。』とされ、こういうことが勝手に閣議決定されていました。さらにガバナンス(組織運営)の問題として、独立行政法人であるため、業務に関する権限・責任が理事長一人に集中している独任制であること、会議自体も完全非公開とされていることがあります。これは社会保障審議会年金部会『年金積立金の管理運用にかかわる法人のガバナンスの在り方検討作業班』に問題があります。」との説明を受けた。

続いて、連合本部総合政策局生活福祉局金沢部員から、『『STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現』第3弾が中央執行委員会で確認されました。第18回統一地方自治体選挙が行われる中で今回の年金積立金の取組が補強として追加されました。地方連合会の取組として街宣行動、地方議会での意見書採択に引き続き取り組みます。2月19日の中央執行委員会で示していきます。』と説明。質疑応答で参加者からの「厚生年金の全額か?委員の会社のために投資を勧めるのではないか?」との質問に、照沼部長が「130兆円のうち半額は株に投資されています。」と応答し、共闘会議吉野副議長の閉会あいさつの後、河村議長の団結ガンバローで「連合白書、年金積立金はだれのもの」の学習会を終えた。



ろうきん

# 四国ろうきんの社会貢献活動 基本方針

四国ろうきんは、経済・福祉・環境・文化などの社会的課題への  
取り組みを行うと共に、NPO、市民活動団体をはじめ  
地域福祉の事業に対する支援活動を進めています。

「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」と定めた  
「ろうきんの理念」の具体化を図ることを目的とした活動を続けます。

### ろうきんの基本理念

- ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。
- ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。
- ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。
- 会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。
- ろうきんは、誠実・公平および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

### ■助成金制度

社会福祉、高齢者問題、文化や国際交流などの  
「福祉活動」を対象とし、非営利で、公共性の高い  
活動をしている団体に対し、応募申請をもとに審査・選定し、  
助成金を贈呈する制度です。

過去 13 年間に  
**381 件 6,469 万円**の  
事業資金の助成を  
行っています

### ■ピンクリボン運動支援

「女性が健康で長く働くことができる社会づくり」に貢献するために、乳がん早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボン運動」への支援に取り組んでいます。

具体的には、四国ろうきん ATM において、ろうきんカード（マイプラン含む）および他行カードでの支払 1 回につき 1 円を四国ろうきんが負担し、「ピンクリボン運動」を実施している四国地区の公益財団法人日本対がん協会のグループ組織に寄附するものです。

経営統括部 TEL.087-811-8004  
E- メールアドレス：manage@shikoku-rokin.or.jp  
または最寄りの営業店にお問い合わせください。



ホームページアドレス  
<http://www.shikoku-rokin.or.jp>

金融機関コード 2987

## 全 労 済

## 1. 地域貢献事業

## 徳島駅伝に協賛しました

全労済徳島県本部は、徳島県で60年続く伝統行事の「徳島駅伝」を支援するため、地域貢献事業として、2015年1月4日(日)～1月6日(火)に開催されました第61回記念徳島駅伝に協賛しました。

本年度は、新たに全労済徳島県本部名を入れたゴールテープとゴールマットをゴール地点に設置したり、小旗21,000本を作成し、沿道で徳島駅伝を応援する皆さまに配布しました。

2. 火災共済60周年記念事業  
防災イベントを開催しました全労済  
スマイルイベント  
2015開催

2015年3月7日(土) ゆめタウン徳島1Fウエストコートにて、火災共済60周年・住まいる共済発売を記念した防災イベントを開催しました。当日は、ヒーローショーや避難シミュレーションゲーム等のイベント、レスキュー隊員による救命実演を実施し、667名の皆さまにイベントに参加いただき、防災・減災に対する知識を楽しく学んでいただきました。

## 2015年2月火災共済・自然災害共済商品改定のご案内

火災共済は、誕生から60年。  
より「暮らしの安心」にお役立ちできるよう組合員の皆さまのご要望にお応えし、火災共済・自然災害共済が**住まいる共済**として、新しく生まれ変わりました。



全労済の  
**住まいる共済**

新火災共済・新自然災害共済  
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

## 勤労者福祉ネットワーク

### ◆第2回ファミサポネットワーク連絡会の開催

2015年1月23日(金) 徳島グランヴィリオホテル 参加者58名  
 ファミサポ機能強化のための基調講演を行いました。ファミサポ設置市町村、ファミサポアドバイザー、リーダー会、各子育て支援団体を対象に開催し、一般財団法人女性労働協会課長の小林恭子氏から「ファミリー・サポート・センターの活動を安全に行うために」と、まつやまファミリー・サポート・センターアドバイザー山藤純子氏の「まつやまファミリー・サポート・センターの現状と課題」の講演を行い、今後のファミサポ強化に繋がりました。



「ファミサポネットワーク連絡会」

### ◆第3回あわ〜ず徳島会員交流懇親会の開催

2015年1月25日(日) 徳島グランヴィリオホテル 参加者150名  
 あわ〜ず会員同士が自由に交流するとともに、事業所間交流を行うなどを目的に「第3回あわ〜ず徳島会員交流懇親会」を開催しました。来賓の徳島市副市長・鈴江祥宏様から徳島市の特別報告等を交え挨拶をいただき、徳島県からは、総合福祉サービスをめざしサービスセンターの広域化に取り組んでいる現状を徳島県商工労働部労働雇用課課長谷口右也様からご紹介いただきました。また、近畿圏サービスセンターと徳島市サービスセンターとの相互利用ができるよう「おおきにNet」との提携に際し、多大なる尽力を賜った公益財団法人堺市勤労者福祉サービスセンター副理事長鎌倉幸信様から提携までの苦労話などを紹介しながら挨拶をいただきました。



「会員交流懇親会」

挨拶をいただいた後、長年にわたりご愛顧いただいている事業所を対象とした功労事業所表彰に移り、公益財団法人勤労者福祉ネットワーク・久積理事長より、表彰状と記念品が事業所ごとに授与され感謝が述べられました。その後、余興を楽しむなど賑やかな交流会となりました。

### ◆ハートフルゆめ基金とくしまブレ募集説明会の開催

2015年2月16日(月) 公益財団法人勤労者福祉ネットワーク会議室 参加者20団体 23名  
 主催者よりブレ募集までの経過報告や基金への協力要請を行い、事務局より、基金の理念である「徳島をなんとかしたい」にちなんで、徳島県内を拠点に活動し、積極的な情報公開を行う市民活動団体が実施する、ネットワーク型の事業を支援することを説明しました。それは1つの団体で実施し完了する事業ではなく、地域の社会資源である人(個人・団体・地域・企業等)・モノ・技術・情報・制度やサービスなどと繋がり、地域社会の課題解決にそれらを活用した事業を募り、資源を繋いでいけば、創り出せる活動や役割が必ずや発見できることなどについて説明しました。その後参加者よりハートフルゆめ基金とくしまへの要望や、取り組みについての協力など力強い意思表示がされました。又、寄付者からの寄付金振込にあたっては、徳島県内の複数の金融機関に振込手数料の免除要請を行うなど、金融機関にも社会貢献活動への参加も呼び掛けていることなども報告しました。3月10日をブレ募集締切とし、3月20日の選考委員会で募集先を決定し、4月より新たに開設される「ハートフルゆめ基金とくしまのホームページ」などを通じて募集を行い、9月には助成する旨報告し説明会を終えました。

### ◆「マナーアップ研修」の開催

2015年3月3日(火) 徳島県立中央テクノスクール 講師 福永由里子氏 参加者46名  
 今回は、事業主・管理職等を対象として、「今さら聞けないビジネスマナー」「コミュニケーション力をアップする方法」「言葉で変わる! 全員即戦力」を目的に研修会を開催しました。参加者からは、「名刺交換などマナーの再確認ができ良かった。」「明日から会社で実践したい」との声をたくさんいただきました。



「マナーアップ研修」

### 中小企業サポート事業

お気軽にお問合せください  
 (独)勤労者退職金共済機構  
 中小企業退職金共済事業本部  
 ☎(03)6907-1134(代)  
 ☎(03)5955-8211

- 国の制度だから安心・確実!
- 新規加入や掛金月額を増額する場合、掛金の一部を国が助成します。
- 掛金は全額非課税で、手数料もかかりません。
- 外部積立型だから管理が簡単!
- 従業員ごとの納付状況や退職金試算額を事業主にお知らせします。
- パートさんもご加入いただけます
- 適格退職年金制度からの移行先です。

ご存じですか?  
 「中退共」の退職金制度なら、掛金が国の助成が受けられます。

詳しくはホームページをご覧ください

## 地域ライフサポートセンターの活動

### 徳島中央ライフサポートセンター

#### ～講演会を開催しました～

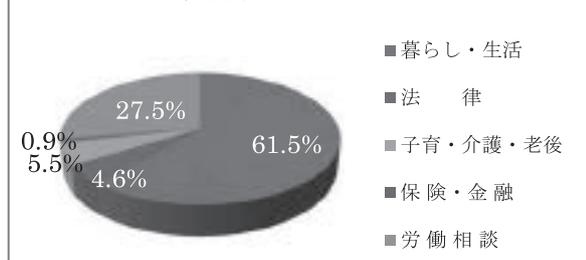
- ※と き 3月27日(金)17時30分から
- ※と ころ 労働福祉会館5階502会議室
- ※講 師 あわ共同法律事務所  
久米 一義弁護士
- ※演 題 法律相談への道案内  
ーその話、弁護士に相談してみませんか?ー

当センターでは、「暮らしなんでも相談」を毎日行っています。2013年度及び2014年度の1月までの概要は次のとおりです。

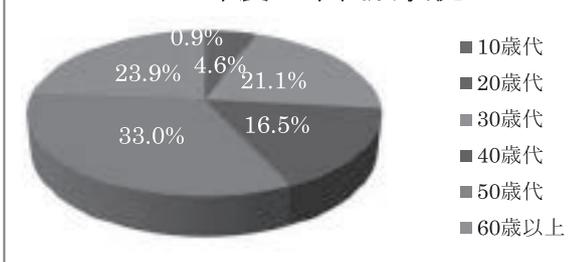
相談内容では、「暮らし・生活」に関するものが6割(2013)7割(2014)と多く、その中で悪徳商法やネットでのトラブルなど「消費者問題」に関する相談が、4割(2013)5割(2014)と多く寄せられています。

また、年齢別では50歳以上の方が半数となっています。

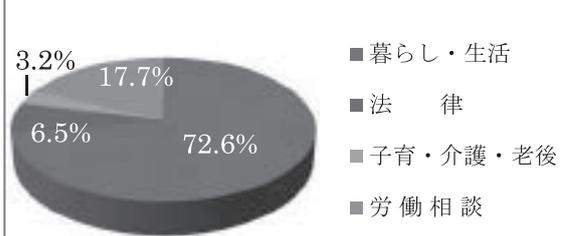
2013年度相談内容別割合



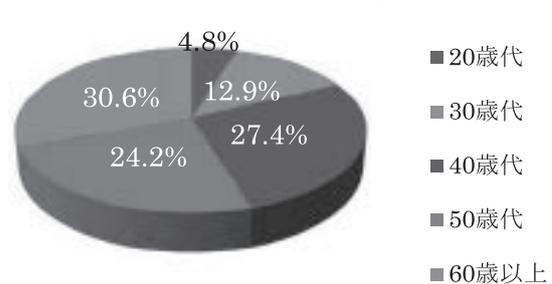
2013年度 年代別状況



2014年度相談内容別割合



2014年度年代別状況



この様な状況から、身近な問題をテーマに講演会を開催し悪徳商法や振り込め詐欺などの被害防止と、身近な問題解決の術を一人でも多くの県民の方に知って頂けたらと考え開催しました。

なお、講演要旨は、次号に掲載します。

### 徳島西部ライフサポートセンター

#### ～地域貢献事業(スポーツ少年団支援)～

昨年度も、①第29回徳島県西部小学生バレーボール連盟春季大会(5/18) ②第9回東みよし町スポーツ少年団サッカー大会(10/11) ③第23回パナソニックヘルスケア杯少年サッカー大会(2/11) ④三好少年軟式野球連盟平成27年度春季大会(3/1)への後援を行いました。これは毎年、地域貢献事業として行っている事業であります。

各大会では、子どもたちが日ごろの練習の成果を発揮しようと一生懸命にプレイし、白熱し

た闘いを繰り広げていました。そして、その横では子どもたちに熱い眼差しを向け、声援を送る保護者の姿が多く見受けられました。

将来、日本を代表するような選手が表れるかも…と期待を込め、今年度もこの事業を行います。



## 徳島南部ライフサポートセンター

### 終盤に入った運転免許取得特別講座

昨年の7月26日(土)から始まった「2014年度障がい者のための自動車運転免許取得特別講座」は毎土曜日18時から南部ライフサポの隣の部屋で行われ、私たちもお手伝いをしました。

夏には局地的豪雨や台風のために立て続けに授業が3回中止になったりしましたが、生徒さんたちはくじけず、暑い日も寒い日も、お互いに励まし合いながら勉強を続けてきました。

講座終盤には、生徒さんの苦手分野に重点をおきながらの、個別の丁寧な指導が実を結び、講師の宝先生も、皆さんの習熟の速さは舌を巻くほどですと感心していました。



3月末には卒業を迎えましたが、この流れで教習所に入り免許を取得することで、就職に生かせるだけでなく、生活全体にも大きな幅が出てきます。

生徒さん達には、免許取得という大きな夢に向かってあとひと踏ん張り、さらにもうひと踏ん張り、と頑張ってもらいたいです。私たちも力を合わせてサポートしていきます。



### 地域の振興、活性化に貢献を

また、ライサポ発足の原点に立ち返り、勤労者の暮らし全般に関わる支援を、という観点から、労働・生活相談、また、ゆとり・生きがいづくりに関するイベント開催のほかに、地域全体とのつながりにも目を向け、ライサポ事務所で地域のイベントや「あなんで映画をみよう会」などのポスターやチケットを取り扱っています。

これらは、住民の方々が気軽に立ち寄っていただける文化的なスポットとしての役割を果たしながら、「ライサポ認知度のアップ」にもつなげていきたい、との思いで取り組んでいます。

というわけで事務所入り口の扉あたりに、多いときには5つも6つものイベントのポスターが貼られています(笑)。



「ワーク・ライフ・バランス社会の実現」の基盤にもなる環境づくりのために、今後も地域の振興や活性化に貢献できる様々な事業に、さらに積極的に参加・協力していければと考えています。

## わーくぴあ徳島

一般社団法人 徳島県労働福祉会館  
とくしま社会運動資料センター  
第2回公開講座

一般社団法人徳島県労働福祉会館が運営する、とくしま社会運動資料センターの公開講座が、2月28日(土)ヒューマンわーくぴあ徳島5F大ホールにて開催されました。第2回目となる今回は元参議院議員でAWA女性研究所代表の乾晴美氏を講師に招き、『輝いた阿波の女性たちI』と題した約2時間の講義



に65名の方が参加しました。

講義の冒頭、明治5年に学校制度が確立されてから以後も三従七去を尊

守する封建思想が教え込まれ、それが因襲となって今日まで生き続けていると述べられました。

続いて、獄中から女性の参政権を訴え後に女性差別に関する国際条約の批准に国会議員として貢献した市川房枝さんのことを話され、そして乾講師自らの活躍の場でもあった徳島県内における教育行政、労働行政において女性の地位向上の転換期となった主な出来事、さらには昭和56年の徳島県女性協議会の設立についてまで、女性運動の萌芽とも言うべき時代について熱弁を振るわれました。

講座では『徳島県女性協議会20年史』をテキストとして使用し、女性協議会の活動の足跡の他、女性の地位向上に腐心した人物、県行政の取組みにおいて功績のあった団体が紹介されました。

今回の講座は『輝いた阿波の女性たち』と題した連続3回講座の第1講であり、2015年度中に残り2講座を行い、講義内容を取りまとめて書籍化する予定です。

公開講座の開講に先立って、2月16日(月)から27日(金)までの間ヒューマンわーくぴあ徳島5F大ホールにて行われた同テーマのパネル展では、労働福祉会館の関係団体をはじめ、任意団体やNPO法人の代表の方など、一般来館者を含めて延べ105名の方が訪



## 特定非営利活動法人 壮生

## 第6回壮生健康セミナー

## 「認知症予防講座」を開催

6年目を迎えた壮生健康セミナーでは糖尿病と共に大きな問題になりつつある「認知症」を再び取り上げました。高齢化の進む徳島県では65歳以上の人の「4人に1人」が認知症またはその疑いのある人と言われ、その数は約6万人になります。高齢社会の進行で認知症の人は今後も増えると予想され、認知症の人やその家族を温かく見守り、日常生活の中で認知症の人が困っているのを見かけたとき、声をかけたり手助けしたりするのが主な活動である「認知症サポーター」の養成は急務となっています。ちなみに徳島県内のサポーター数は2013年度末時点で1万7474人と全国(約475万人)で最も少ないのが現状です。

12月9日(火)の第1回目では、2014年度からの3年間でサポーター数を5万人に増やす方針に沿って

認知症サポーターの養成に力を入れている徳島県から講師をお招きして「認知症



サポーター養成講座」を開催しました。21人の皆様が参加して、認知症についての基礎知識とその対処方法について学びました。講座終了者には認知症サポーターの証である「オレンジリング」が贈られました。2月17日(火)の2回目は、講師の管理栄養士さんから「認知症を予防する食事について」を学びました。日頃から食事や食べ物に関心を持ち注意を払っていれば認知症は予防できるということです。31人の受講者から自分や家族の食事や食べ物について多くの質問が寄せられ関心の高さが明らかになりました。



3月18日(水)の第3回目の「認知症予防～運動実践～」には25人のシニアの皆様が参加しました。運動は身体だけではなく頭脳も同時に使う複雑なものもあり、苦勞しながら一生懸命に体を動かしました。

今回の健康セミナーには、延77人が参加し、認知症への関心が高まっていたことが分かりました。



# ろうきんは、はたらく人のための金融機関です。

- ろうきんは、日本でただひとつ、はたらく仲間がつくった、  
非営利の勤労者福祉金融機関です。
- ろうきんは、健全経営に徹し、利益は会員・勤労者や社会に還元します。
- ろうきんは、はたらく仲間の人生設計と夢を実現する生活応援バンクです。
- ろうきんは、はたらく仲間の笑顔に使われる、  
お金の流れ「グッドマネー」をつくります。



ずっと承く  
**八 四国ろうきん**  
<http://www.shikoku-rokin.or.jp>

ZENROSAI NEWS

手頃な掛金で、火災、地震、  
風水害、雪害など幅広くカバー



**新**火災共済・**新**自然災害共済  
 風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

新しい住まいの保障、  
**新登場。**

保障のことなら  
**全労済**  
全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

詳しくは全労済のホームページへ。 <http://www.zenrosai.coop>

発行 公益社団法人

## 徳島県労働者福祉協議会

徳島市昭和町3丁目35-1 (わーくびあ徳島内)  
 TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113  
 URL <http://www.tokushima-rofuku.net/>  
 e-mail [tokushima@rofuku.net](mailto:tokushima@rofuku.net)

編集・発行人 小松 義明  
 印刷者 (有)フォトプリント白石